

Step to the Future ~未来への一歩~

実力テストの個人成績票を有効活用しよう!!

15日(金)に2年生の学年末テスト以来、約2ヶ月ぶりに学校でテストが行われました。今回は実力テストだったので、実際の入試に近い内容や形式で行われました。基本的な問題から応用問題まで多くの単元から幅広く出題されていたように思います。さて、ここで1つ質問があります。

「定期テストより問題数が少ないと感じた人はいませんか？」

この質問の意味するところは何なのでしょう？実力テストや入試で問題数が少ないということは、「1問あたりの配点が高い」ということです。特に数学などでは基本的な計算問題でも1問4点や5点ということもあるのです。落ち着いて解答するのはもちろん、ていねいな字で書くことや見直しをすることも大切になります。何よりも計画を立ててしっかり準備をすることが一番です。

「実力テストだから特に準備をする必要はない。」

「文字通り、実力で受けたらいい」なんて言うてはいられませんね。

テストが終われば結果を個人票にして返却します。各教科の得点だけでなく、学年の平均点や順位、度数分布表やグラフなど多くのデータが示されています。ただ単に、「平均点より上か下か」や「順位が○番だった」などに左右されず、そのデータから自分の長所を見つけ伸ばす姿勢や短所に気づき改善していく努力を大切にしてください。



次回は実力テスト(5月11日・火)になります。3年生のみ中間テストの代わりとして今年から実施することになりました。3年生の授業は始まったばかりなので、今回と同じように2年生の範囲から多くの問題が出題されます。配布された解答例を参考にもう一度確認や復習をしておきましょう。

3年生では毎日の学習を進めながら1・2年生の内容を復習していかなければなりません。その点が今までとは大きく違い、多くの人が苦勞することになると思います。ですから、毎日少しずつ学習を進めていくことが最も重要になってきます。「その日に学習した内容をその日のうちに復習する」この繰り返しこそが自分の学力を伸ばしていくのです。特にワーク等を利用すれば提出物も同時に完成して、一石二鳥になります。テスト範囲が発表されてから取りかかるのではなく、テスト勉強を先取りして始めてみてはどうでしょうか？

昔から「先手必勝!!」との格言もあることですし…

これってOK? それともNG?

先日の実力テストや全国学力・学習状況調査の試験監督中に気になる点がありました。久しぶりのテストで疲れたとは思いますが、テスト中に机に突っ伏して寝ている人がいました。



「この状況をあなたはどのように思いますか？」

例えば高校入試を想像してみましょう。みなさんを受け入れる高校側は3年間の高校生活を学習や部活動などに熱心に取り組む生徒を欲しています。学力はもちろんのこと、物事に取り組む姿勢も重要なポイントの1つです。試験監督をしている高校の先生は入試の得点だけでなく「テスト中の態度・姿勢」も同時に見ているのです。また、入試に面接を実施する高校もあります。新型コロナウイルス感染症の影響で実施する高校の数は少し減っていますが、面接中はもちろん待機中の様子もそれとなく観察されていることも事実です。

このようなことから考えると、みなさんの行動は

「どんな場所でも、誰かに見られている」

「その行動が良い評価につながることもあれば、悪い評価にもなりかねない」ということになります。

では、注意すべき点は高校入試のときだけでいいのでしょうか？人の行動様式は長い間の生活習慣から成り立っています。短期間の練習や訓練で身につくものでは決してありません。まずは自分の行動が正しいのか、正しくないのかを考え、正しくないものがあれば、少しずつ修正していくことが大事なのではないでしょうか？

次のことに心当たりはありませんか？

- ・正しい制服の着こなしはできていますか？
(男子のベルトや女子のスカート丈 など)
- ・時間を守ることはできていますか？
(ギリギリセーフは本当にセーフ?)
- ・場面に応じた正しい言葉づかいはできていますか？
(相手の人は友人? それとも?)
- ・気持ちのこもったあいさつはできていますか？
(多くの人が中学校を訪れます。その人が持つ印象は?)

今一度、自分の行動を見直してみましょう。

説明会に積極的に参加しよう

兵庫県立明石西高等学校

5月14日(土)

9:00 ~ 10:30 国際人間科説明会

11:00 ~ 12:00 教育類型説明会



※ 案内プリントのQRコードまたは明石西高校のHPより個人で申し込む
また、保護者の参加は各家庭1名まででお願いします。

申込〆切 5月8日(日)